

平成 26 年 2 月 16 日 (日) 施行

第 173 回 全経簿記能力検定試験 1 級 工業簿記 解説

第 1 問

1. 原価計算基準 第一章 四 原価の諸概念 参照
2. 原価計算基準 第二章 一七 部門個別費と部門共通費 参照
3. 原価計算基準 第二章 二五 工程別総合原価計算 参照

第 2 問

1. 直接作業時間→仕掛品
間接作業時間、手待時間→製造間接費
5. 実際消費価格 = @ ¥791 × 2,500 個 = ¥1,977,500
予定価格 ¥1,962,500 - 実際価格 ¥1,977,500 = 材料消費価格差異 △ ¥1,500 (不利差異)
6. 工場と本社の仕訳は以下のとおりである。工場側の仕訳が解答となる。

(本社)	(借)	売 上	原 価	487,000	(貸)	工 場	487,000
(工場)	(借)	本 社		487,000	(貸)	製 品	487,000

第 3 問

- (1) 工場消耗品

		工場消耗品		
月初棚卸高	¥22,600	¥185,400	¥26,700	当月発生額
当月購入高	¥189,500			月末棚卸高

- (2) 賃金給料

		賃金給料		
当月総支給額	¥221,400	¥221,900		月初未払高
月末未払高	¥49,200			当月発生額

- (3) 電力料 …当月測定額
(4) 諸 口 …その他諸経費支払額および発生額
生産データは次のとおり。

仕掛品	
0 個	4,600 個
5,400 個 (4,920 個)	800 個 (320 個)

4,920 個×0.3 時間=1,476 時間
 1,476 時間×@ ¥650= ¥959,400
 よって配賦差異は ¥959,400 - ((1)+(2)+(3)+(4))= ¥15,600

第4問

1. 素材の購入

(借) 素 材	3,857,900	(貸) 買 掛 金	3,813,600
		当 座 預 金	44,300

2. 素材勘定の借方合計 ¥4,376,100

		素 材			
月初棚卸高	¥518,200	¥1,782,000		A 組仕掛品	
買 掛 金	¥3,813,600	¥1,575,000		B 組仕掛品	
当 座 預 金	¥44,300	各自計算		組 間 接 費	
		¥537,400		月末棚卸高	

月末残高 ¥537,400、A 組仕掛品 ¥1,782,000、B 組仕掛品 ¥1,575,000 であるから、
 組間接費は ¥481,700

3. 賃金の支払

(借) 賃 金 給 料	2,018,200	(貸) 当 座 預 金	1,786,000
		預 り 金	232,200

4. 賃金給料勘定の借方合計 ¥2,253,100

		賃金給料			
当 座 預 金	¥1,786,000	¥275,200		月初未払高	
預 り 金	¥232,200	¥774,300		A 組仕掛品	
		各自計算		B 組仕掛品	
月末未払高	¥183,500	¥289,100		組 間 接 費	

月初未払賃金給料 ¥275,200、A 組仕掛品 ¥774,300、組間接費 ¥289,100 であるから、
 B 組仕掛品は ¥863,100

5. 経費の支払

(借) 経 費	202,700	(貸) 当 座 預 金	202,700
---------	---------	-------------	---------

6. 減価償却費の年間見積額が ¥1,458,000 (12 カ月) なので、1 カ月分 ¥121,500 を計上

(借) 経 費	121,500	(貸) 減価償却累計額	121,500
---------	---------	-------------	---------

7. 経費勘定の借方合計 ¥358,200

		経 費			
月初前払高	¥34,000	¥140,700		A 組仕掛品	
当 座 預 金	¥202,700	¥132,300		B 組仕掛品	
減価償却類計額	¥121,500	各自計算		組 間 接 費	
		¥37,000		月末前払高	

月末前払高 ¥37,000、組直接費 ¥273,000 であるから、
 組間接費は ¥48,200

8. 組間接費合計 $\text{¥}481,700 + \text{¥}289,100 + \text{¥}48,200 = \text{¥}819,000$

⇒ A組仕掛品 (60%) $\text{¥}491,400$

⇒ B組仕掛品 (40%) $\text{¥}327,600$

9. A組製品の製造

A組仕掛品
(先入先出法)

	材	¥120,400	400				
	加	¥58,800	(240)	5,800			<u>¥3,155,200</u>
	材	¥1,782,000	6,000	100			¥15,900
	加	¥1,406,400	(5,860)	500	材	¥148,500	
				(200)	加	¥48,000	
							<u>¥196,500</u>

先入先出法により

$$\text{材料費単価} = \frac{\text{¥}1,782,000}{6,000} = @ \text{¥}297$$

$$\text{加工費単価} = \frac{\text{¥}1,406,400}{5,860} = @ \text{¥}240$$

月末仕掛品の評価は

$$\text{材料費} @ \text{¥}297 \times 500 \text{ 個} = \text{¥}148,500$$

$$\text{加工費} @ \text{¥}240 \times 200 \text{ 個} = \text{¥}48,000$$

10. B組製品の製造

B組仕掛品
(先入先出法)

	材	¥118,800	500				
	加	¥48,200	(200)	6,200			<u>¥2,852,000</u>
	材	¥1,575,000	6,300	600	材	¥150,000	
	加	¥1,323,000	(6,300)	(300)	加	¥63,000	
							<u>¥213,000</u>

先入先出法により

$$\text{材料費単価} = \frac{\text{¥}1,575,000}{6,300} = @ \text{¥}250$$

$$\text{加工費単価} = \frac{\text{¥}1,323,000}{6,300} = @ \text{¥}210$$

月末仕掛品の評価は

$$\text{材料費} @ \text{¥}250 \times 600 \text{ 個} = \text{¥}150,000$$

$$\text{加工費} @ \text{¥}210 \times 300 \text{ 個} = \text{¥}63,000$$

11. A組製品の販売

A組製品
(平均法)

¥278,300	500	5,900	¥3,215,500
<u>¥3,155,200</u>	5,800		
		400	<u>¥218,000</u>

平均法により

$$\text{単位原価} = \frac{\text{¥}278,300 + \text{¥}3,155,200}{500 + 5,800} = @ \text{¥}545$$

$$\text{月末製品} @ \text{¥}545 \times 400 = \text{¥}218,000$$

12. B組製品の販売

B組製品
(平均法)

¥190,600	400	6,300	¥2,904,300
<u>¥2,852,000</u>	6,200		
		300	<u>¥138,300</u>

平均法により

$$\text{単位原価} = \frac{\text{¥}190,600 + \text{¥}2,852,000}{400 + 6,200} = @ \text{¥}461$$

$$\text{月末製品} @ \text{¥}461 \times 300 = \text{¥}138,300$$